

岩倉市のごみ収集量と資源回収量の状況について

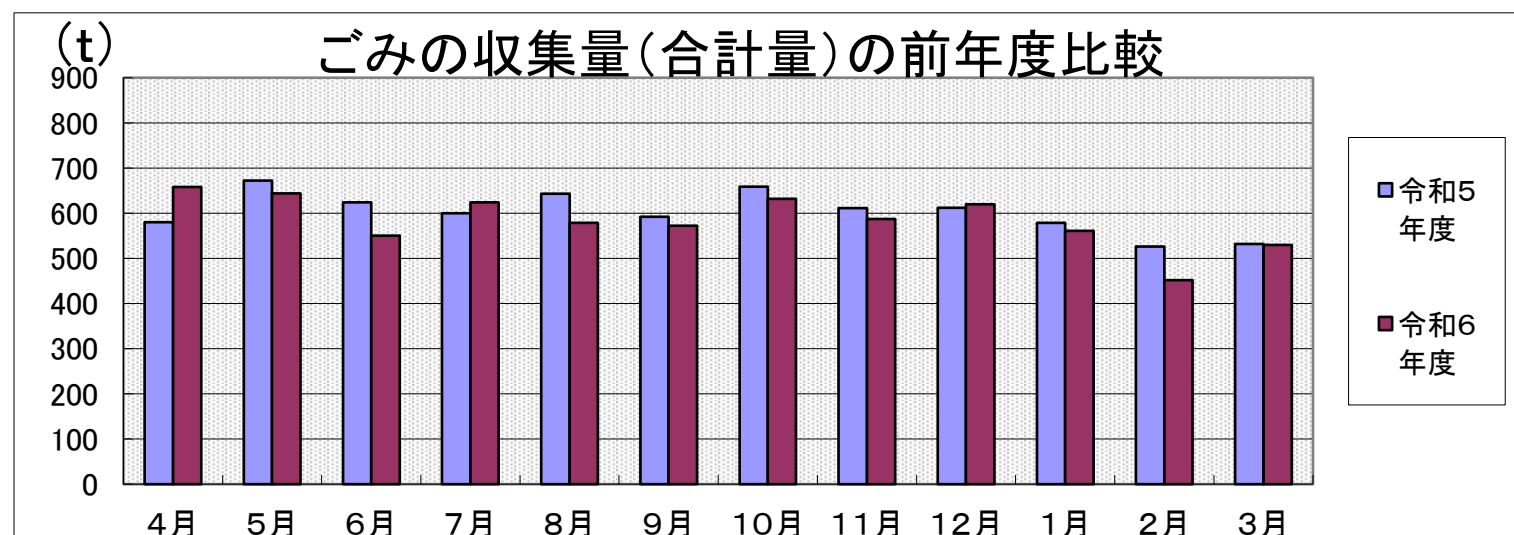
資料No. 1

1 ごみ収集量の前年度比較 ※四捨五入等の都合により、各月の合計が合わない場合がある。 (単位:t)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
令和5年度	燃やすごみ	524	602	571	554	586	545	603	547	551	529	480	483	6,575
	破碎ごみ	56	70	53	46	57	47	56	64	61	50	46	49	655
	合 計	580	672	624	600	643	592	659	611	612	579	526	532	7,230
令和6年度	燃やすごみ	596	579	502	573	531	528	577	529	558	505	411	479	6,368
	破碎ごみ	62	65	48	51	48	44	55	58	62	56	41	51	641
	合 計	658	644	550	624	579	572	632	587	620	561	452	530	7,009
5年度と6年度の比較	燃やすごみ	72	▲ 23	▲ 69	19	▲ 55	▲ 17	▲ 26	▲ 18	7	▲ 24	▲ 69	▲ 4	▲ 207
	破碎ごみ	6	▲ 5	▲ 5	5	▲ 9	▲ 3	▲ 1	▲ 6	1	6	▲ 5	2	▲ 14
	合 計	78	▲ 28	▲ 74	24	▲ 64	▲ 20	▲ 27	▲ 24	8	▲ 18	▲ 74	▲ 2	▲ 221

令和6年度のごみ収集量は、燃やすごみ、破碎ごみ合わせて**7,009t**になります。前年度比で**221t(約3.1%)**の減となりました。コロナ禍をはさみごみの減少傾向が続いています。市民のごみ減量に対する意識が一定高く継続しているのではないかと考えています。

【参考】
市民1人当たりのごみ排出量
(「燃やすごみ」と「破碎ごみ」の年間収集量÷年度末総人口÷365日)
令和6年度: 403g/日
令和5年度: 416g/日
令和4年度: 435g/日



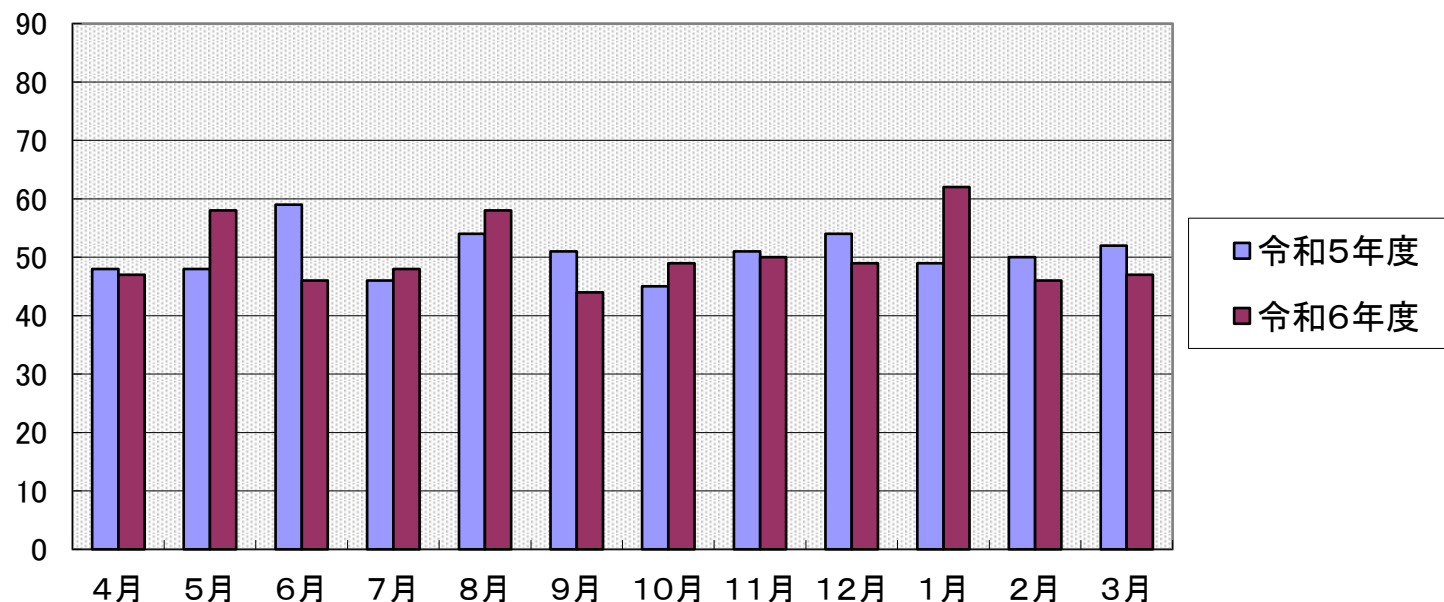
2 プラスチック製容器包装資源化量の前年度比較

(単位:t)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
令和5年度	48	48	59	46	54	51	45	51	54	49	50	52	607
令和6年度	47	58	46	48	58	44	49	50	49	62	46	47	604
5年度と 6年度の比較	▲ 1	10	▲ 13	2	4	▲ 7	4	▲ 1	▲ 5	13	▲ 4	▲ 5	▲ 3

令和6年度のプラスチック製容器包装資源化量は、前年度比で3t(約0.5%)の減となりました。昨年と比べ微減であり、月によって増減が大きい年度でありました。

(t) プラスチック製容器包装資源化量の前年度比較

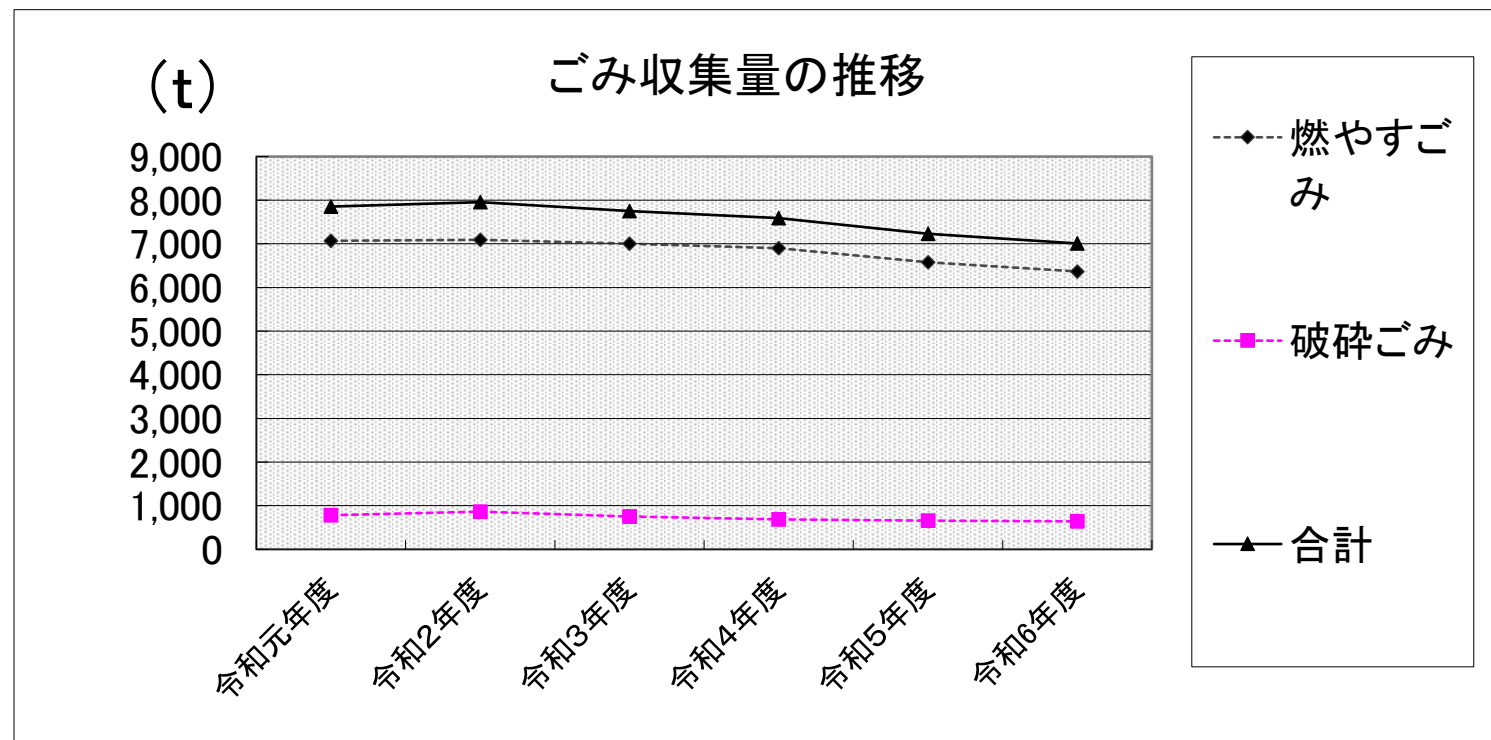


3 過去からの推移

(1) 令和元年度からのごみ収集量の推移

(単位:t) 【参考】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平成13年度
燃やすごみ	7,070	7,093	7,004	6,904	6,575	6,368	10,644
破碎ごみ	783	863	749	687	655	641	2,748
合 計	7,853	7,956	7,753	7,591	7,230	7,009	13,392



岩倉市のごみ量は人口増加とともに増加し、平成13年度最大値13,392tになり、それ以降は古紙と古着の日、プラスチック製容器包装資源の回収の実施等により減少し続けてきました。コロナ禍により、令和2年度は増加に転じましたが、令和3年度からは再び減少傾向となり、従来の状態を取り戻したと考えられます。

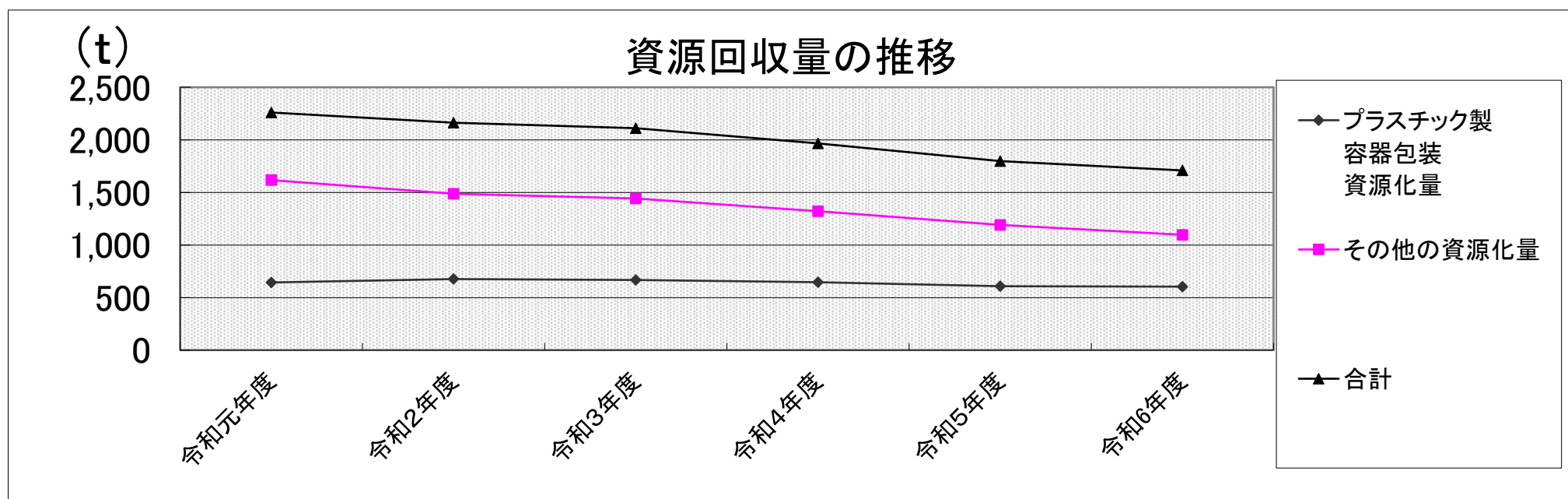
引き続き、安定的かつ継続的にごみや資源の収集を行えるよう、ごみの排出抑制や資源の適切な分別、リサイクルの周知啓発による市民意識の向上を図ります。

(2) 令和元年度からの資源回収量、資源化率の推移

ア 資源回収量の推移

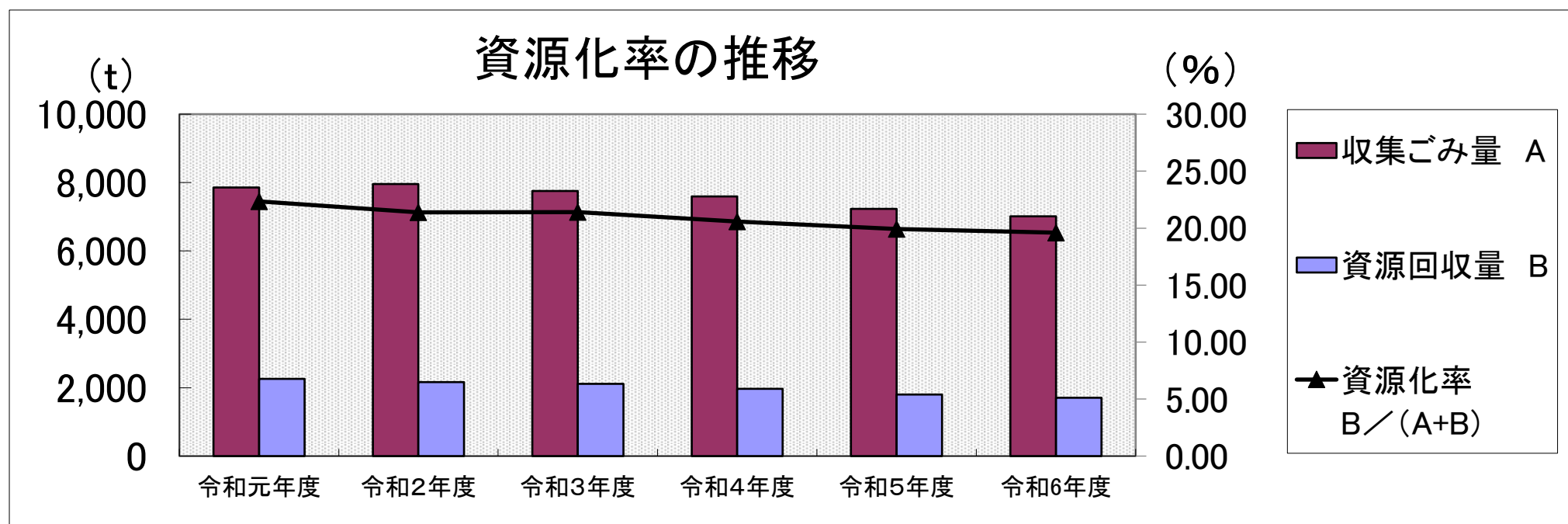
(単位:t)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
プラスチック製 容器包装 資源化量	643	676	668	646	607	604
その他の資源化量	1,617	1,488	1,443	1,321	1,192	1,097
合 計	2,260	2,164	2,111	1,967	1,799	1,709



イ 資源化率の推移（単位：収集ごみ量、資源回収量はt、資源化率は%）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収集ごみ量 A	7,853	7,956	7,753	7,591	7,230	7,009
資源回収量 B	2,260	2,164	2,111	1,967	1,799	1,709
資源化率 B／(A+B)	22.35	21.38	21.40	20.58	19.92	19.60



資源回収量・資源化率については、コロナ禍の影響に伴うごみの排出量の増加等により令和2年度に1%程度低下しました。その後ごみの排出量は減少傾向に戻りましたが資源の排出量も減少し、**令和6年度の資源化率は19.60%**となりました。これは、メディアの発達による紙媒体の減少、企業努力による容器類の軽量化、さらに民間事業者による資源回収の増加などが影響していると考えられます。一方で、民間事業者が回収している資源の量から推測すると、市民のリサイクルに対する意識はある程度高いレベルを保っていると考えられます。

引き続き、e-ライフプラザや日曜資源回収の利用促進を図っていくとともに、資源回収団体への助成金制度の周知、**プラスチックのみでできた製品**や雑がみの資源化をより一層推進するなどして、ごみ減量化・資源化を図っていきます。